

「みんなのリーフレット」で街のバリアを探してみよう(その2)

イラストの説明の解説(リーフレットに説明の載っていないイラスト分)>

リーフレットの街の中には、リーフレットに説明のある①～⑦のほかにもバリアやバリア

解消例があります。イラストを探してみよう!

いくつ見つけられたかな?どうしてそれがバリアだと思いますか?

(1) 見開き左 受付



情報の伝え方が不十分だと、人によっては必要な情報が得られないことがあります。たとえば、聴覚障害の人は、音や声だけでは情報が得られません。

→筆談や手話、文字が表示される設備を使うなど、その人に合ったコミュニケーションが求められます。

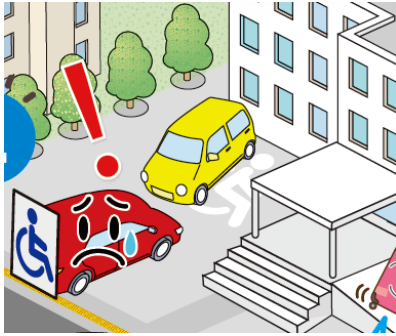
(2) 見開き左 案内板



子どもや障害者を含め、多くの人が理解できるように、案内板は、その高さ、文字の大きさ、形、内容のわかりやすさなどへの十分な配慮が必要です。

→大きくてわかりやすい文字や記号、色を用いることはもちろん、やさしい日本語やカラーバリアフリー(誰にもわかりやすい色使い)、外国語への配慮も重要です。

(3) 見開き中央 車椅子使用者用駐車区画



車椅子を使う人等、車の乗り降りに大きなスペースが必要な人等が使えるように作られた、幅の広い駐車区画(幅3.5 m)です。

→この駐車場でなくても止められる人がこの駐車場に車を止めると、必要な人が止められず困ります。

(4) 見開き中央 視覚障害者用信号機



視覚障害の人が補助犬(盲導犬)を連れて、白杖を持って横断歩道を渡っています。「視覚障害者用信号機」が、音によって、信号が青であることを知らせています。

→この絵では、「視覚障害者用信号機」や、補助犬(盲導犬)によって、バリア解消され、安全に横断歩道を渡っています。

※視覚障害の人や高齢者等が安全に横断歩道を渡るには、こうした「視覚障害者用信号機」や、ボタンを押すと青信号の時間が延長される「高齢者等感応式信号機」も重要です。最近では、この他に、スマートフォンから情報を伝えられる「高度化PICS」や、横断歩道内の誘導ブロックである「エスコートゾーン」等もあります。

(5) 見開き中央 視覚障害者誘導専用ブロック (点字ブロックと呼ぶこともあります)



視覚障害の人の安全でスムーズな移動等のために、交差点での歩道と車道の境目や、道などの必要な所に、敷かれています。

→誰かが、ここに自転車を停めたために、視覚障害の人が歩けなくなっています。さらに、ケガをしたり、歩く方向がわからなくなることもあり危険です。

※ここに自転車を止めたり、上の絵の「車椅子使用車用駐車区画」に車を停めてしまった誰かは、ブロックや区画の意味を知らなかったのでしょうか？それとも、それが必要な人たちが困ってしまうことへの想像力が足りなかったのでしょうか。(答：両方)

(6) 見開き面左 歩きスマホ



電車のホームで歩きながらスマートフォンを操作している人がいます。

→歩きスマホは他の人への衝突や、線路に転落する危険性があります。

(7) 見開き面中央 ヘルプマーク



義足や人工関節、内部障害や難病の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマークです。

マークをつけている人には、同じ姿勢を保つことが困難、聴覚障害、視覚障害などさまざまな人がいます。席を譲ることや、駅や商業施設等での声かけなどの配慮、また、災害時は、安全に避難するための支援等が必要です。

(8) 見開き右 段差・階段【補足説明】



お店の前などに段差があると入れない人がいます。段差があると足や車輪が引っかかってしまい危険です。

→でもなぜ段差があるのでしょうか。また、絵には通れている人もいます。バリアはどこに(いくつ)あると思いますか。

※(8)の補足説明

＜考えられるバリアとバリアの解消例(通れている人)です。＞

1 建物を建てる時、建物を注文した人の認識不足や、段差解消用の面積が少ないこと等によって段差が発生します。

(1)意識のバリア(認識不足・無関心)や、物理的な制限(面積が足りない)によって

(2)物理的なバリアが発生します。

→バリアの解消例>1意識して2スロープ設計=段差解消(イラスト④)

2 建物を建てた後、建物を管理する人の認識不足や対応不足で段差が続きます。

(3)意識のバリア(認識不足・無関心)などによって

(4)物理的なバリアが継続します。

→バリアの解消例>3意識して4可動スロープ設置=段差解消(イラスト④)

→バリアの解消例>5意識して6管理者や周囲の人での人的対応=段差解消

(イラスト③のやや左上でベビーカーを運んでいる)